

●夢花事業部・せせらぎ沿線事業部 2021年度 年間予定

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
夢花	年間行事				健康診断		健康診断		12(金) ~21(日) カラース かわさき展	大掃除 忘年会	新年会	12(土) 夢花アート ワーク展	
	休日開催				22(木)	9(月)	23(木)	2(土)	23(火)	18(土)	8(土)	11(金) 23(水)	21(月)
せせらぎ沿線	年間行事				8(木) バサー ジュたま		3(金) 日帰り 旅行		12(金) 19(金) 日帰り 旅行	28(火) 納め会 健康診断	新成人を 祝う会	19(土) あゆ 祭り	
	休日開催				22(木)			2(土) 24(日) 中野島町 会運動会		4(土) 福祉の つどい 29(土)		19(土)	

※社会情勢により延期・中止等の可能性があります、それぞれの予定は念のため事前に確認下さい。

夢花事業部より

■コロナ感染の収束が見通せない為、9月18日に予定していた「夢花感謝祭」を残念ながら中止をする事と致します。

■来年2月12日に「夢花アートワーク」として創作展を開催する予定です。■コロナワクチンの接種は基本的に個人の判断となりますが、施設従業者を対象にした集団接種の案内が川崎市から来ています。グループホームの入居者は、希望を確認しながら職員が予約や通院をしています。各家庭で対応が難しい場合は、職員にお知らせ下さい。地域のクリニックも、ワクチンを無駄にしない為に、予約がキャンセルされた時に、連絡をしてくれる事があり予定外の接種も進んでいます。



▲2021 夢花アートワーク展

せせらぎ沿線事業部より

■多摩川あゆ工房の事務所レイアウトを変更しました。事務所入口にはカウンターを設置しましたので、来訪した際にはご活用ください。

■多摩川あゆ工房正面、旧なかまの家跡地が住宅建設工事を行っています。入られる際にはご注意ください。■10月2日(土)に開催を予定していました「あゆまつり」ですが、新型コロナウイルス蔓延防止を考え、令和4年2月19日(土)へ延期をいたします。従来通りでの開催は困難と予想されます。具体的な内容が確定次第、お知らせ致します。



▲事務所入り口(上)  
工房前の工事状況(下)

事業部事務局報告

6月24日に 夢花工房と生活ホームの職員が参加して、小嶋スーパーバイザーによる「権利擁護」をテーマとした研修会を行いました。「ソーシャルケースワークは、人間と社会環境との間を個別に意識的に調整すること」「何らかの事情によって自らの思いや考えを、他人ないし社会に伝える事ができないもしくは困難な方の声を、他人ないし社会に伝えていく活動が「権利擁護」と言われている。」等、基本となる事を身近な事例も含めて学ぶ事が出来ました。



▲「権利擁護」研修会

防災担当会議

水害等の災害が発生しやすい時期となり、夢花とせせらぎの防災担当が合同の防災会議を7月8日に実施しました。法人では一昨年に台風による河川の氾濫で保育園の床上浸水の災害を経験しています。多摩川沿いに事業所が点在する「せせらぎ事業部」と、南生田、長沢方面の「夢花事業部」では立地条件も違う事で、利用者の安全を確保する為の準備や想定される被害が違う事を改めて共有する事ができました。まずは、避難場所、備品、連絡網と具体的な整備をしながら、定期的な会議を開催する予定です。

夢花工房ばぱい

〒214-0036 川崎市多摩区南生田 4-12-5

TEL 044-976-6481 FAX 044-789-9511

MAIL popai@marble.ocn.ne.jp

なごみ 夢花

検索

www.nagomi-yumehana.com



多摩川あゆ工房

〒214-0012 川崎市多摩区中野島 4-3-28

TEL 044-911-1315 FAX 044-911-0462

MAIL ayu-kobo@giga.ocn.ne.jp

あゆ工房

検索

www.nagomi-fukushi.or.jp/ayu-kobo/



夢花事業部とせせらぎ沿線事業部をつなぐ情報誌

ゆめせせ  
はな&らぎ  
だより

社会福祉法人なごみ福祉会

2021 夏号

編集 ■ ゆめはな&せせらぎだより編集委員会

発行 ■ 事業部事務局

川崎市多摩区長沢長沢 4-2-9-402

TEL 044(742)2555

MAIL nagomi1@carol.ocn.ne.jp



法人創立 40 周年の歩みのもとに

夢花事業部部長・せせらぎ沿線事業部部長 梶山 則行

本年4月から中野島方面の多摩川あゆ工房を中心とする「せせらぎ沿線事業部」と南生田、長沢方面の「夢花事業部」が合同で事業運営をする事になりました。その結果、日中活動の事業所3か所、グループホームが2事業所で21ユニット、ヘルパーステーション2か所、相談支援事業所が3か所、児童支援の事業所が1か所で、利用者の登録数は、日中の作業所が150人、グループホームが104人の規模となります。従業員数も合わせると200人を超える状況です。



南生田と長沢の事業所は、地域の必要性からグループホームの設置とヘルパーステーションの活動が中心となっていました。法人の障害福祉事業の中心施設としてあゆ工房が各事業の不足する部分を補ってくれたお陰で、「夢花工房ばぱい」があゆ工房の分場から、夢花事業部の中心施設となりました。

法人の理念を大切に、利用者に必要なサービス提供をそれぞれが取り組む中で、夢花の児童支援事業所ドリーム以外は、同じサービス事業所を設置運営をしてきましたので、事業所の事情を共有し、二つの事業部で培ってきた強みを生かし、弱みを補い合う事で、サービス内容の向上と、職員の成長を図り、コロナ禍で流動的な社会情勢や大きな災害が発生した時にも円滑に対応できる体制を作ることができると思います。

創立40年の法人の歩みの中で、療育相談でんでん虫を含めて、保育園の責任者の方々とも協力をして、様々な課題に向き合ってきましたが、今まで以上に、職員一同と力を合わせて行きますので宜しくお願い致します。

願いと意思を一つにして

せせらぎ沿線事業部 副部長 鈴木 智浩

今年度からなごみ福祉会の川崎市内事業部制に大きな変化がありました。法人本部のある多摩区内の「夢花事業部」と「せせらぎ沿線事業部」が一つの事業部となり、事業部長に夢花事業部の梶山副理事長が着任されました。



2つの事業部は南生田、長沢地域の夢花事業部がグループホームとヘルパーステーションを中心に事業展開をしてきました。一方登戸、中野島地域のせせらぎ沿線事業部は日中活動を中心に事業展開してきました。それぞれ事業展開の仕方に違いはありましたが、法人の理念のもと利用者に必要なサービスを提供して現在に至っています。急な展開でそれぞれの事業部の利用者やご家族、働く職員も戸惑いがあるかもしれません。しかしその2事業部が一つになることにより支援力が2倍ではなく3倍、4倍にもなると思います。

今後はお互いの強みを生かしサービスの質の向上に努め、職員同士が切磋琢磨し成長していけるような組織になるような体制を整備することで、安心安全に利用者の方の生活を守っていけるように努力をしていきたいと思っていますので宜しくお願い致します。



▲あゆ工房の焼き菓子アソートセット(左) 夢花工房の木製品とアクセサリ(右)





## ◎夢花事業部

### 鷺ヶ峰の施設をリノベーション

利用者の3密を避ける為に、鷺ヶ峰のドリーム2を「分場鷺ヶ峰」として登録をして利用を開始しました。ぼばいの2階から5人の利用者が移動し、人との距離が取れる事で落ち着いて活動出来る様子です。



▲旧ドリーム2を利用

### 新築ホームに移転しました

多摩区長沢のパレットと虹2が栗谷二丁目に新築した建物の1階、2階に移転をしました。最初は戸惑っていた利用者さんも、静かで見晴らしが良い環境で落ち着いて過ごしています。バリアフリー化とスプリンクラーの設置費用は川崎市から補助金を頂きました。



▲白と茶系の明るいホーム

### 地元の高校生が見学

東生田高校の生徒さんが、今年も11名見学に来ました。卒業後に親元から離れた生活のスタイルの一つとして、毎回興味津々の様子です。

### ニンニクできました!

丹精を込めて栽培した玉ねぎと、ニンニクを収穫し、法人内の事業所に届けました。あゆ工房、保育園でも買っていただき、利用者さんも充実感一杯です。



▲収穫したニンニクの選別作業

### 日帰りバスグルメツアー!

感染予防対策を徹底して、小人数で、日帰りのバス旅行で美味しい物を沢山食べてきました。(コロナに感染した人は一人もいませんでした。ホッ)



### ビギン (ドリーム・ヘルパーステーション夢花)

■コロナの感染予防を優先して、利用人数の制限や外出の自粛が続いています。今年も七夕に、短冊に記した願い事が一杯になりました。 ■作業療法士の資格を持つ職員が個別のプログラムを作成して少しずつ、児童の発達のサポートをしています。



▲手作りの七夕

## ◎せせらぎ沿線事業部

### ふれあいまつり!

2021年6月20日(日)にコロナウイルス感染対策を行いながら、第20回多摩ふれあいまつりが開催されました。



多摩川あゆ工房は1階アトリウムでのメッセージカード作りと焼き菓子販売を行い、午後には大ホールで「川崎ロックソラン」と「E ジャンダンス」の2曲のダンス発表を行いました。メッセージカード作りでは父の日も近いということもあり、多くの子ども連れの方に来て頂き、各々の日頃の感謝の思いを書きながら、メッセージカード作りを楽しまれていました。焼き菓子販売ではメッセージカードと一緒に贈り物として焼き菓子を買う方もいらっしゃり、あゆ工房の活動に関して知っていただける、とてもいい機会になりました。ダンスは2週間前から毎日、利用者さんと職員が合同で練習を重ねてきました。全員が楽しみながら参加できる空間になるよう、まずは職員一人一人が声を出し、笑顔で踊ることを意識しながら練習を行い、利用者さんも笑顔で参加することが出来ました。本番では緊張しつつも練習以上に全員が声を出し、楽しみながら踊ることが出来ました。観て下さった方からも「声が出ていて、とてもよかった」とのお声もいただきました。田加井



▲メッセージカードと焼き菓子販売

### 生田出張所の清掃も受注

あゆクリーンサービスは、就労継続支援B型の施設なので、清掃作業だけではなく、個別対応や一人一人のニーズに合った支援を行い、支援と作業の両方を大切に考えています。清掃現場は、アパート・マンションや療育センターや特別養護老人ホームや官公需の仕事を行っています。



▲清掃例、屋上もピカピカ!

2016年から作業を行っている小田急線の生田駅にある生田出張所の仕事が、今年度も入札することが出来たので、2021年の6月18日から清掃を行っています。作業内容は大きく変わっていないので、利用者さんも新たな現場で緊張感を持ちながら頑張っています。千頭

### なごみグループホーム

共同生活なので一定のルールや個々でのお約束などがありますし、トラブルも全くないわけではありません。ホーム内であれば「何かあったら世話人さんに相談してね」と伝え、当人同士のもめ事を避けるよう努めております。

現在コロナ禍において体験利用を制限しておりますが、平時では将来に向けてホームってどんなところかな?と思っっている方のために、男女1名ずつ体験部屋を用意しております。ご興味のある方は一報ください。平林

夢花・せせらぎ事業部では職員間の交流を進めています!

### ■交流報告 多摩川あゆ工房 大屋

私は以前ヘルパー事業所の担当をしていたこともあり、夢花の事業所を訪問したこともありましたが、改めてじっくり見学することにより、夢花の活動内容をより知ることが出来ました。まず、驚くことは夢花事業部の職員がホームや日中活動など、多々兼任していることです。シフトが複雑だったり仕事内容の把握など大変な面も多そうですが、職員一人一人が複数の事業所を兼任することにより、横のサポートが強くなり、急なトラブルにも対応できる体制だと思いました。利用者さんの個人にあった環境整備は、しっかり整っていて良いと思いました。あゆ工房の利用者の方にも適用できることはどんどん参考にし、取り入れていけたらと思います。その他、各事業所の作業も、参考にしたいものも多々ありました。今回の見学は、他の事業所を知ることにより、職員一人ひとりが、現在の作業や支援に何が活かせるか、どうしたらより良くなるかを考えるきっかけになったと思います。



▲夢花工房での見学風景

### ■交流報告 地域相談支援センター いろはにこんぺいとう 片貝

夢花事業部を見学し、一番印象的だったのは、日中活動の場所・グループが多く、小さく、特性に合わせて個別化されていたことです。小グループでの支援は、障害の特性によっては刺激も少なくわかりやすいだろうな、と思いました。それと同時に、夢花事業部にはあゆ工房ほど大きな建物はなく、同じ建物内で色々な活動が出来ることはあゆ工房の強みなんだな、と、改めて良さに気づくことも出来ました。お互い、毎日支援をしている中で、自分たちの支援が日常的になってしまい、それぞれの良さに気が付かないこともあると思います。見学した感想や気づいたことを共有して、利用者さんのより良い支援に繋げていけたらと思います。

### ■交流報告 夢花工房 岡

あゆ工房を見学させて頂きありがとうございました。事業所を中心に地域全体にグループホーム、クリーンサービス、相談支援センター、お菓子屋が展開されており、地域に根付いた活動をされていると思いました。焼き菓子作業では利用者さんも衛生面に気を付けながら作業されていました。職員は作業工程全体を把握し、その人にあった工程を見出し、できるように丁寧な説明をしてあり、成功体験から自信・意欲に繋がっていると感じました。また情報管理の部分でも学ぶ点も多く、ファイルサーバーを利用しVPN回線を使用することでセキュリティを確保しながら、作業所やホームの情報を一元管理されていました。勉強会なども紙を印刷することなくパソコンやタブレットから参照されるということもあり、情報収集の時間や意思決定にかかるコスト、資源の重複を減らすことができたと思いました。

## 職員間交流ご報告

### ■交流報告 夢花工房 小野寺

なごみ福祉会に入職後2年が経ち、他事業部の施設を見学するのは初めてでした。今回見学したのは“あゆ工房”、“いろはにこんぺいとう”、“GH事務所”、“お菓子屋さんレゼル”“あゆクリーンサービス”の5箇所です。お菓子作りの現場については以前の職場にいた時から興味がありました。利用者の方々が集中して作業されていて、自信を持って取り組まれているかっこいいなと素直に思いました。職員からは、品質を守る為に行っている事、工夫されている事を聞き、食品を売ることの大変さを感じました。クリーンサービスでは利用者の自立度に感心させていただき、あゆ工房では細かい作業に取り組まれている利用者さんに説明を受け嬉しさを感じ、とても良い見学ができたと思っています。これからは事業部の壁を越え、協力をさせていただくことがあると思っています。その際には少しでも力になればと思いました。